



2014年3月期 決算説明会



2014年5月22日
証券コード： 1332

お問合せ先：

経営企画IR室広報IR課 03-3244-4371

<http://www.nissui.co.jp/ir/index.html>

日本水産株式会社

2014年3月期 決算の概要

◆前年比で増収増益

【水産事業】

国内の水産物の市況回復やニッスイ個別で在庫コントロールに努めたこと、海外では不振事業の縮小・撤退や、魚価回復による鮭鱒養殖事業の収支改善などにより大幅な増収増益

【食品事業】

国内で円安による輸入原材料高騰の影響を、生産性向上や販売経費削減、販売価格改定などにより一部をカバー、海外では北米で苦戦するも、ヨーロッパは順調に推移

【海外の不振事業に一定の目途】

- SealordGroup(ニュージーランド:持分法適用会社)
アルゼンチン子会社全株式を売却し、アルゼンチン事業から撤退
(撤退に伴う当社の損失負担額▲16.0億円)
- ロヒタム(ドイツ:冷凍食品の製造・販売)
全株式を売却(売却損 ▲6.1億円)
- 山東山孚日水(中国:水産品・冷凍食品の製造・販売)
出資金を持分比率14.89%まで譲渡 (売却損 ▲7.8億円)

◆水産事業、食品事業、ファイン事業ともに増収増益。水産事業の利益が改善

(単位:億円)

	2014年3月期 実績	2013年3月期 実績	増減
売上高	6,042	5,668	373
水産事業	2,538	2,329	209
食品事業	2,826	2,680	146
ファイン事業	285	275	10
物流事業	138	133	4
その他	252	249	2
営業利益	139	58	81
水産事業	50	▲ 25	75
食品事業	27	19	8
ファイン事業	75	73	2
物流事業	15	18	▲ 2
その他	12	11	0
全社経費	▲ 41	▲ 38	▲ 2
経常利益	123	54	69
当期純利益	37	▲ 47	85

※撤退会社及び再編会社による売上高への影響額
▲130億円

※為替換算による売上高への影響額(試算) +395億円

※撤退会社及び再編会社による営業利益への影響額 +21億円

セグメントマトリックス売上高(前年比)



(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	仮計	連結調整	連結計
水産事業	1,993 (98)	401 (49)	244 (▲51)	158 (8)	507 (132)	3,305 (236)	▲766 (▲27)	2,538 (209)
	1,895	352	296	150	374	3,069	▲739	2,329
食品事業	2,989 (▲41)	560 (104)		84 (16)	229 (73)	3,863 (153)	▲1,036 (▲6)	2,826 (146)
	3,030	456		68	156	3,710	▲1,030	2,680
ファイン事業	303 (12)			2 (▲0)		305 (11)	▲19 (▲1)	285 (10)
	291			2		293	▲18	275
物流事業	223 (8)					223 (8)	▲84 (▲3)	138 (4)
	215					215	▲81	133
その他事業	297 (▲32)			1 (0)		298 (▲32)	▲46 (34)	252 (2)
	329			1		330	▲81	249
仮計	5,806 (44)	962 (153)	244 (▲51)	246 (24)	737 (206)	7,997 (377)		
	5,761	809	296	222	530	7,619		
連結調整	▲1,425 (10)	▲198 (▲8)	▲176 (0)	▲134 (▲8)	▲19 (3)		▲1,954 (▲3)	
	▲1,436	▲189	▲176	▲126	▲22		▲1,951	
連結計	4,380 (55)	763 (144)	68 (▲51)	111 (16)	718 (209)			6,042 (373)
	4,325	619	119	95	508			5,668

※上段は当期累計実績、下段は前年同期実績、右肩括弧内は増減を表わす。

※連結調整にはグループ間取引による売上高消去が含まれる。

※撤退会社及び再編会社による影響額 ▲130億円

※為替換算による売上高への影響額(試算) 395億円

セグメントマトリックス 営業利益(前年比)



(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	全社経費	仮計	連結調整	連結計
水産事業	31 (19)	▲3 (▲10)	12 (49)	2 (5)	10 (7)		54 (71)	▲4 (3)	50 (75)
	11	7	▲37	▲2	3		▲17	▲7	▲25
食品事業	24 (10)	2 (▲5)		0 (0)	2 (6)		29 (10)	▲2 (▲1)	27 (8)
	14	8		0	▲3		19	▲0	19
ファイン事業	74 (2)			0 (▲0)			75 (2)	0 (▲0)	75 (2)
	72			0			73	0	73
物流事業	14 (▲2)						14 (▲2)	0 (▲0)	15 (▲2)
	17						17	1	18
その他事業	9 (▲3)			0 (0)			9 (▲3)	2 (3)	12 (0)
	12			0			12	▲0	11
全社経費						▲41 (▲1)	▲41 (▲1)	▲0 (▲1)	▲41 (▲2)
						▲39	▲39	0	▲38
仮計	155 (27)	▲0 (▲16)	12 (49)	3 (5)	12 (13)	▲41 (▲1)	141 (77)		
	128	15	▲37	▲2	▲0	▲39	64		
連結調整	5 (12)	▲0 (▲0)	0 (▲4)	0 (0)	▲7 (▲1)	▲1 (▲2)		▲2 (3)	
	▲6	0	5	▲0	▲5	0		▲6	
連結計	161 (39)	▲0 (▲16)	13 (45)	3 (6)	5 (11)	▲43 (▲4)			139 (81)
	121	16	▲32	▲2	▲6	▲39			58

※上段は当期累計実績、下段は前年同期実績、右肩括弧内は増減を表わす。

※連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益等が含まれる。

※撤退会社及び再編会社による営業利益への影響額 +21億円

2014年3月期 水産事業

◆国内と南米の利益が改善し、増収増益

(単位:億円)

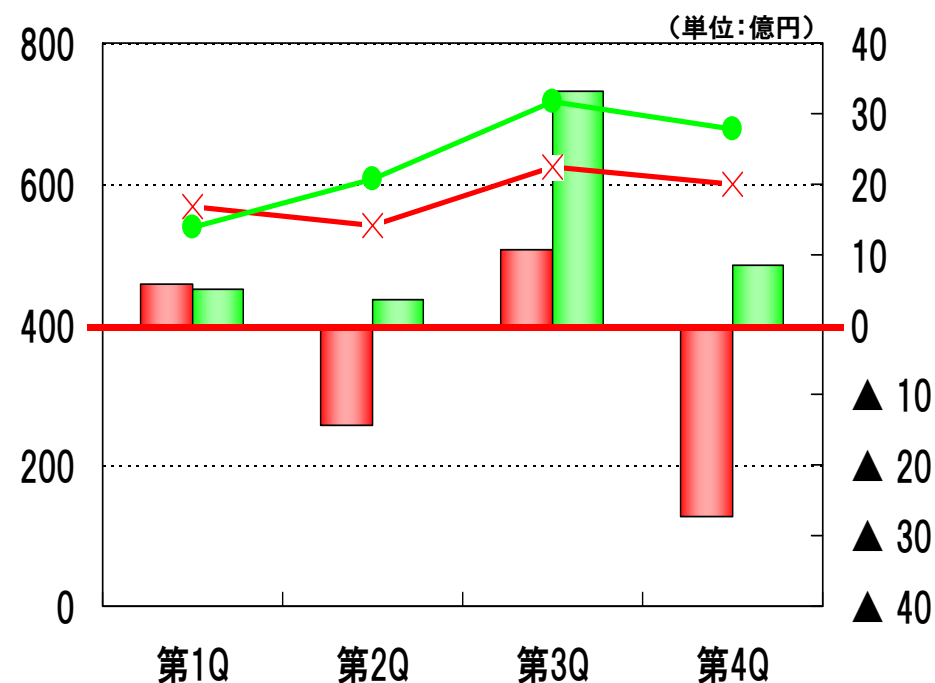
	2014年3月期 実績	2013年3月期 実績	増減
売上高	2,538	2,329	209
営業利益	50	▲ 25	75

【決算総括】

- ・国内、海外ともに水産物市況が回復し、魚価が高値で推移
- ・海外の不採算事業の縮小、撤退による収益基盤の安定化
- ・ヨーロッパでは新規市場の開拓による積極的な事業拡大

売上高(折れ線グラフ)

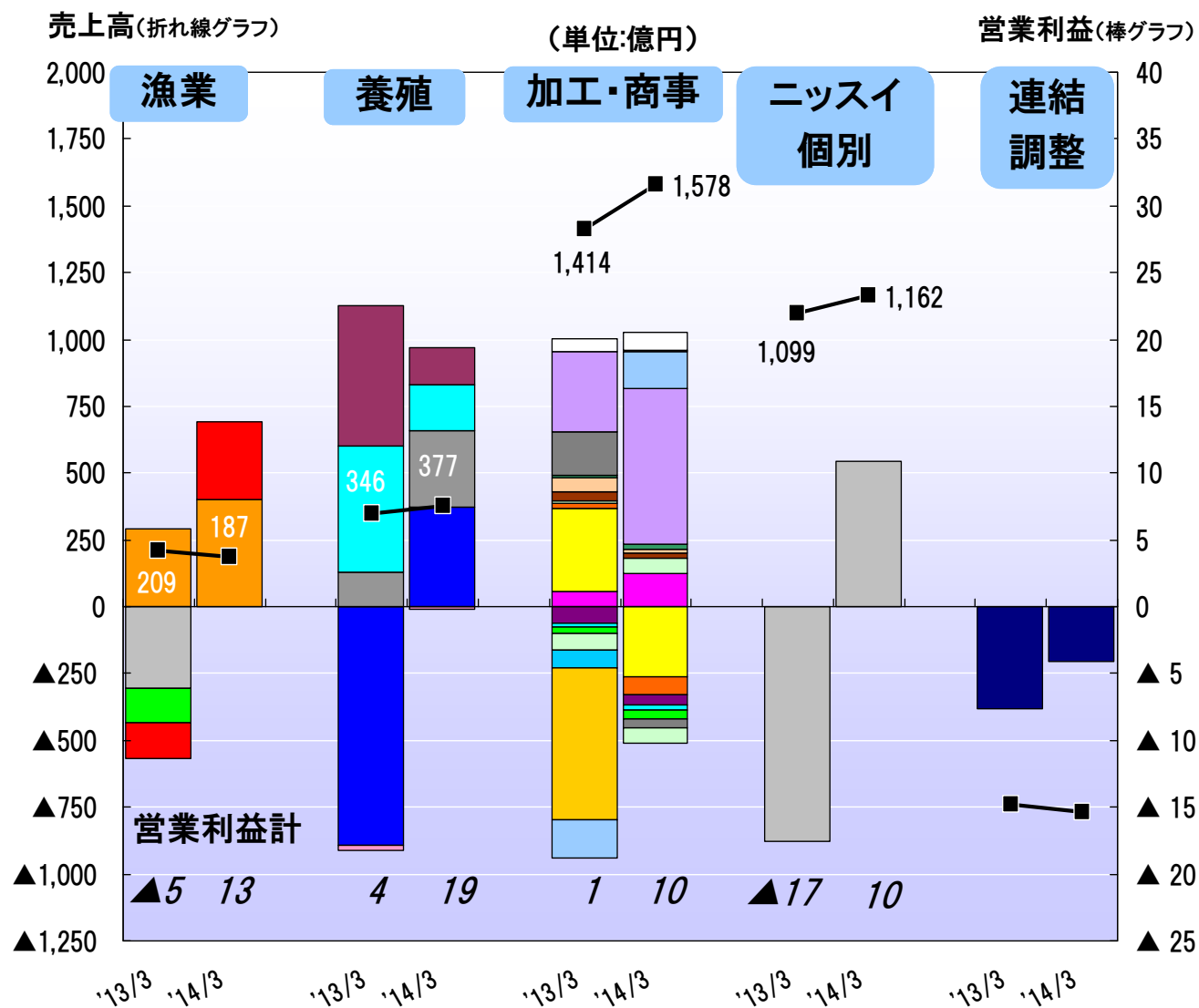
営業利益(棒グラフ)



■ '13/3営業利益 ■ '14/3営業利益 -x- '13/3売上 ● '14/3売上



水産事業 売上高・営業利益(前年比)



主な増減要因

- 【漁業】**
 - ・南米の漁撈事業
事業再編・撤退や効率的な操業により収益改善
- 【養殖】**
 - ・国内養殖事業
ぶり: 魚価・数量共に好調
まぐろ: 魚価下落、数量増加
 - ・チリの鮭鱒養殖事業
魚病の影響・飼料コストの上昇により、原価コストが上昇するも、魚価の上昇により利益改善
- 【加工・商事】**
 - ・アメリカのすけそうだら事業
すりみ・フィレは数量増、助子は数量減、価格は全体で下落
 - ・ブラジルのティラピア養殖・加工からの撤退
 - ・ヨーロッパでは販売エリアが拡大し、主要魚種が高値で推移
- 【ニッスイ個別】**
 - ・年間通じて計画的な在庫コントロールの実施
 - ・水産物市況の回復
特に鮭鱒、えびの販売価格の上昇

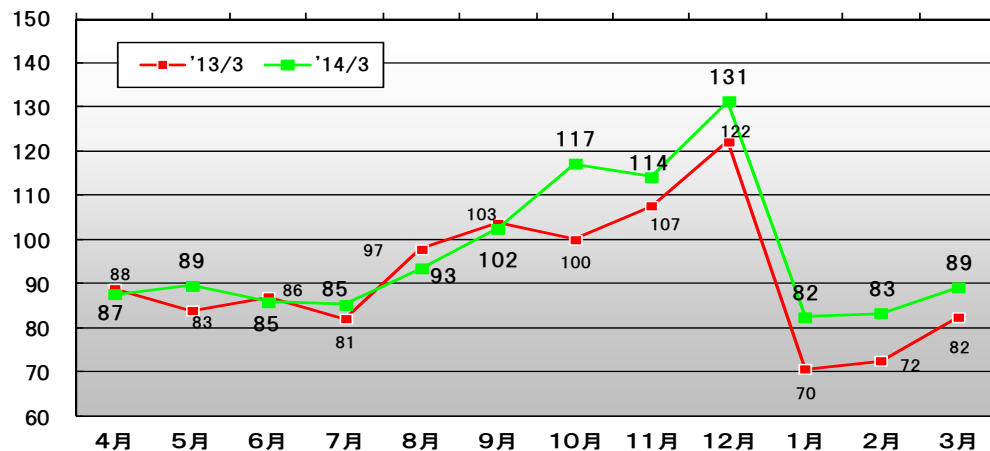
※漁業、養殖、加工・商事のグラフは連結子会社の合計を記載
 ※グラフ下部の斜体数値は機能別 営業利益合計数値
 ※営業利益の連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益等が含まれる

水産事業 ニッスイ個別(前年比)



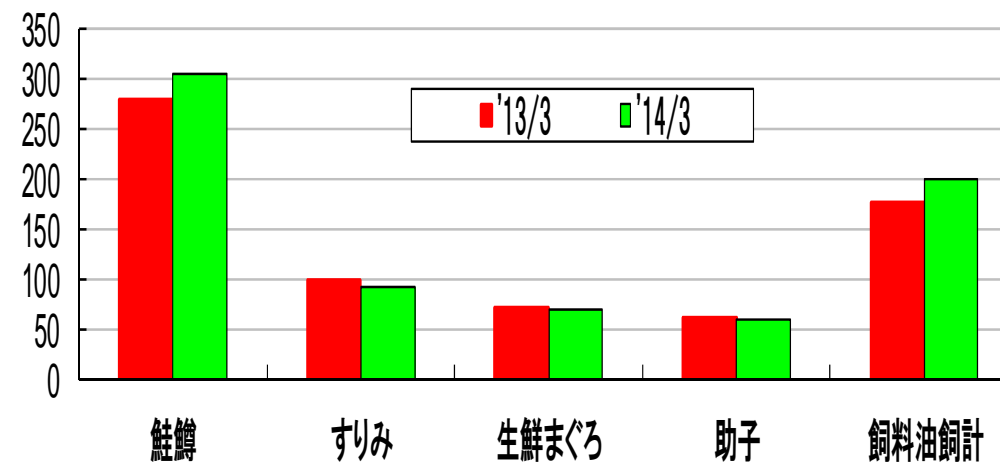
売上高(月別)

(単位:億円)



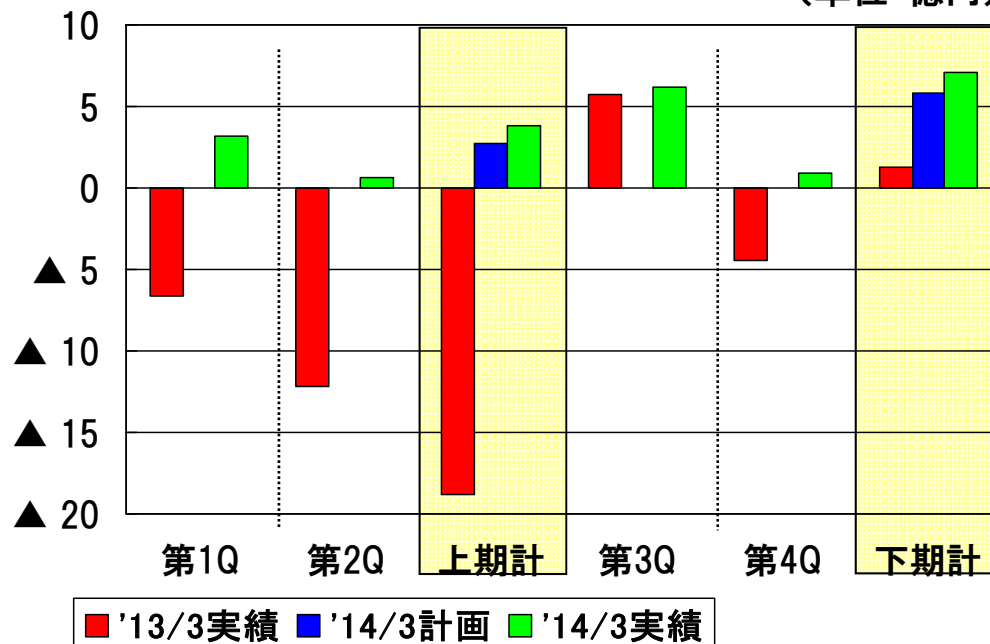
主要魚種別 売上高(前年比)

(単位:億円)

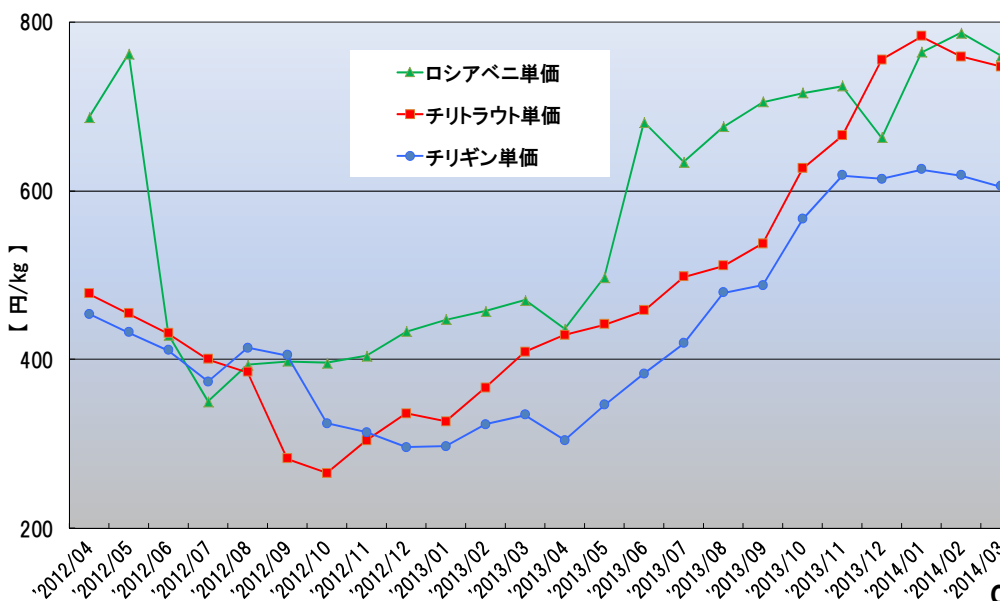


営業利益(四半期別)

(単位:億円)



水産物市況 鮭鱒(財務省貿易統計より算出)



2014年3月期 食品事業

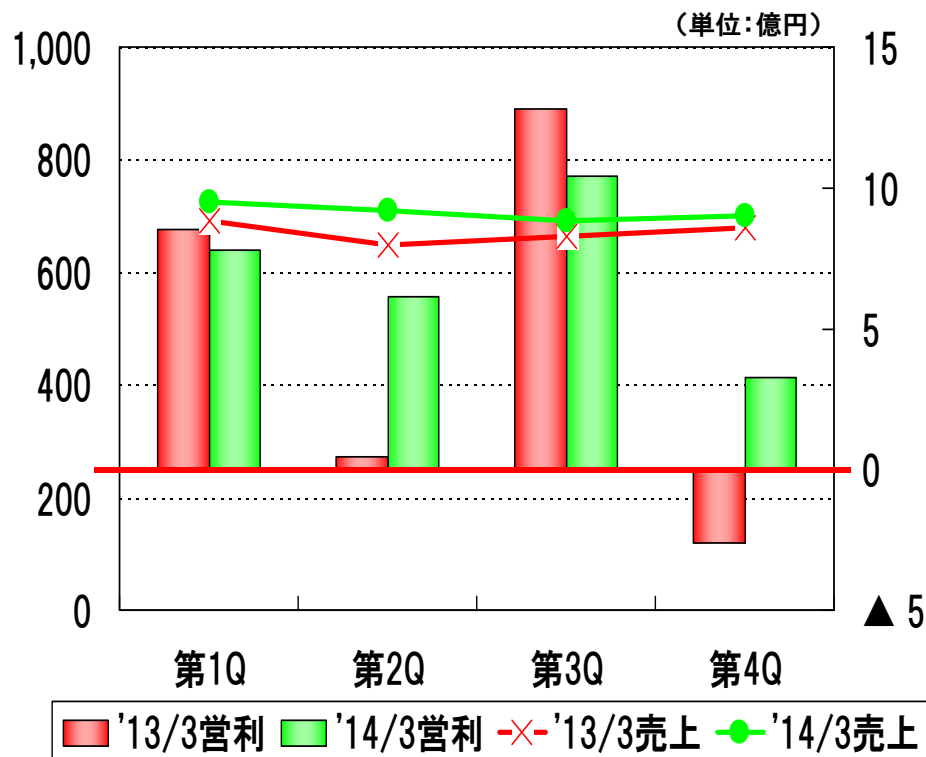
◆ 増収増益。国内は減収ではあるが収支は改善、海外は地域によりバラツキ

(単位:億円)

	2014年3月期 実績	2013年3月期 実績	増減
売上高	2,826	2,680	146
営業利益	27	19	8

売上高(折れ線グラフ)

営業利益(棒グラフ)



【決算総括】

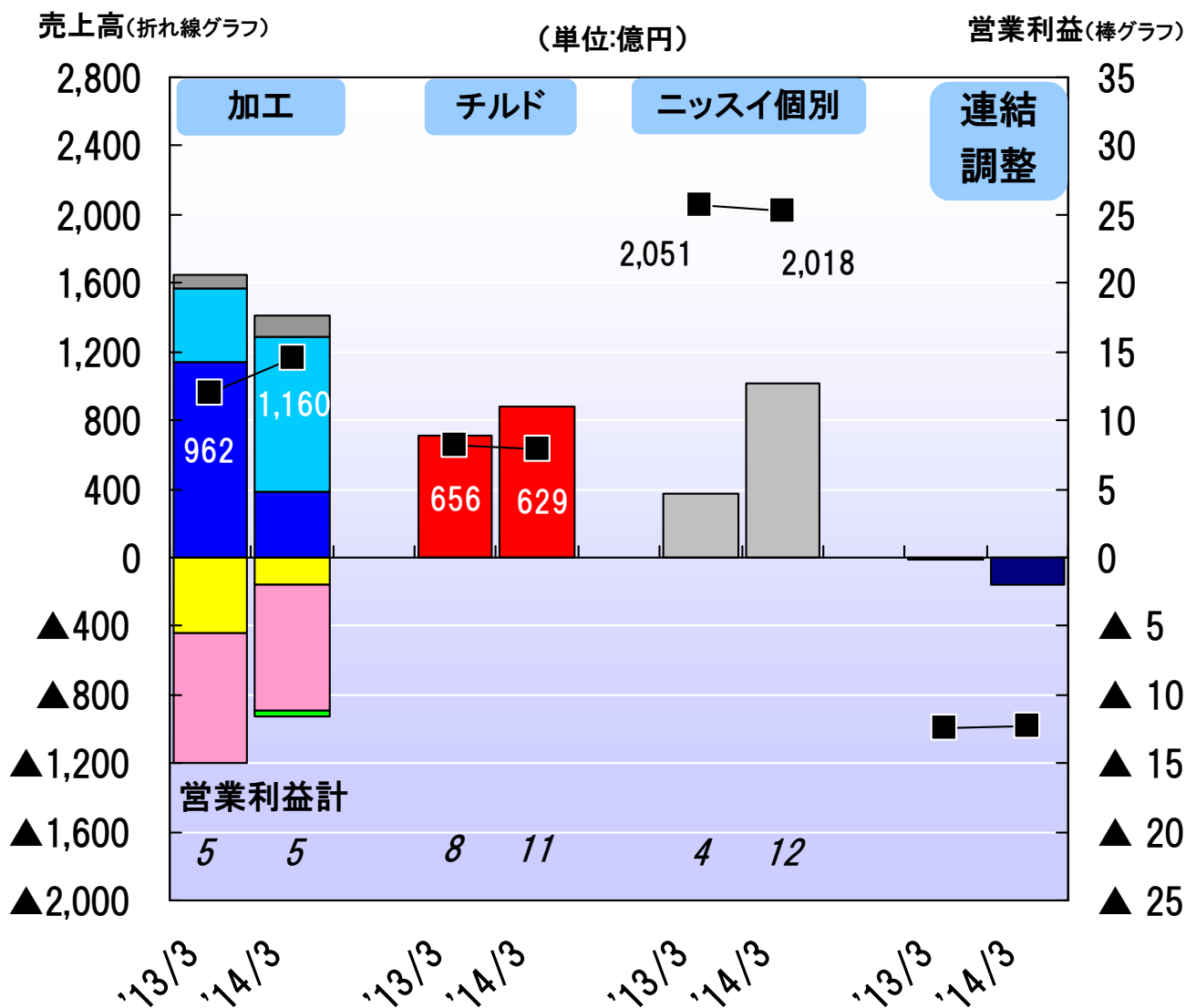
- ・急激な円安のコスト増とそれへの対応
- ・海外の不採算事業からの撤退やリストラなどによる収益体制再構築
- ・ヨーロッパ:生産設備への積極投資による収益拡大



シテマリン社 ミニグラタン



食品事業 売上高・営業利益(前年比)



主な増減要因

【加工】

- ・フランスの水産食品会社
生産能力増強、生産性の向上、
新商品投入などにより増益
- ・ドイツの冷凍食品会社
7月末に売却完了
- ・北米の冷凍食品会社
厳しい価格競争により減益
事業の再構築に着手

【チルド】

- ・生產品目の見直しにより減収
- ・生産性の改善などにより増益

【ニッスイ個別】

- ・円安による輸入原材料・製品の
コストアップ
- ・生産性向上、販売経費削減など
のコストダウン、販売価格改定な
どの取り組みにより増益

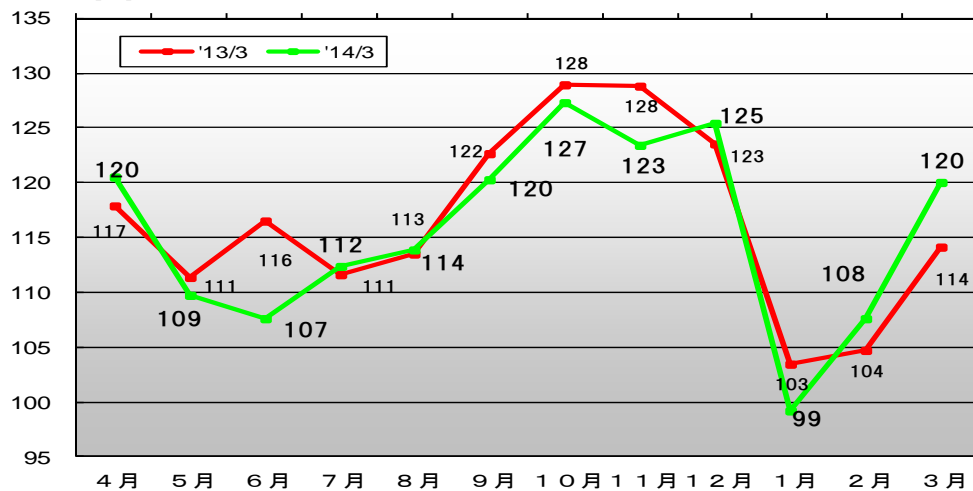
※加工、チルドは連結子会社の合計を記載
 ※グラフ下部の斜体数値は機能別合計数値
 ※営業利益の連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益等が含まれる

食品事業 ニッスイ個別(前年比)



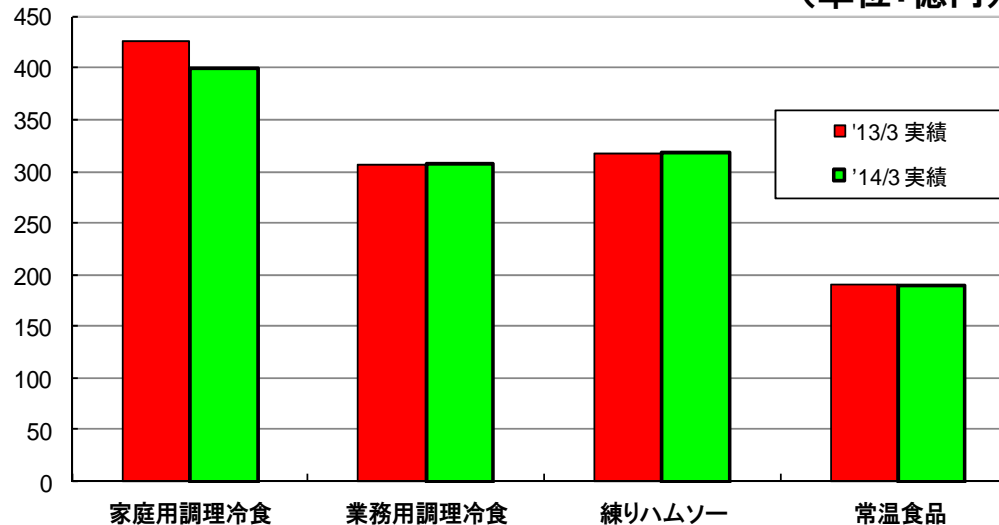
売上高(月別)

(単位:億円)



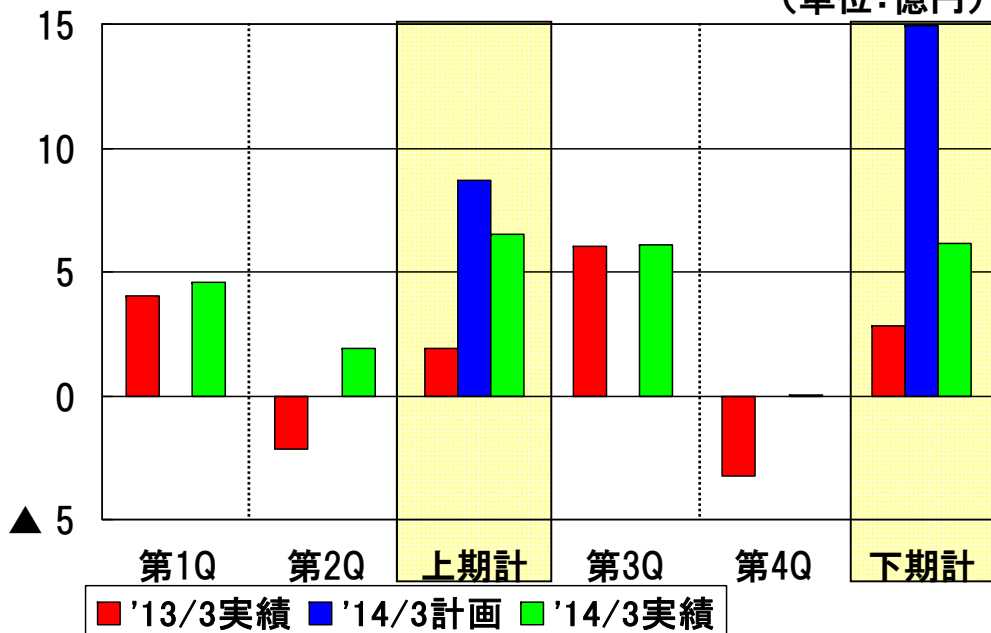
カテゴリ別 売上高(前年比)

(単位:億円)



営業利益(四半期別)

(単位:億円)



- ・為替の影響による原材料コストアップ 26億円
- ・コストダウン、価格改定の効果 40億円



2014年3月期 ファインケミカル事業,物流事業

◆機能性食品の販売が寄与し、増収増益

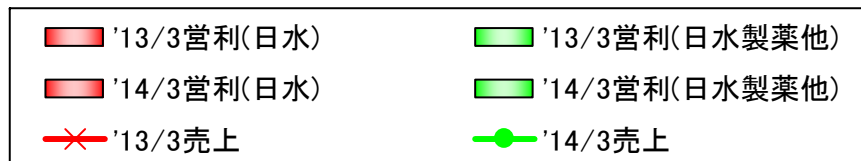
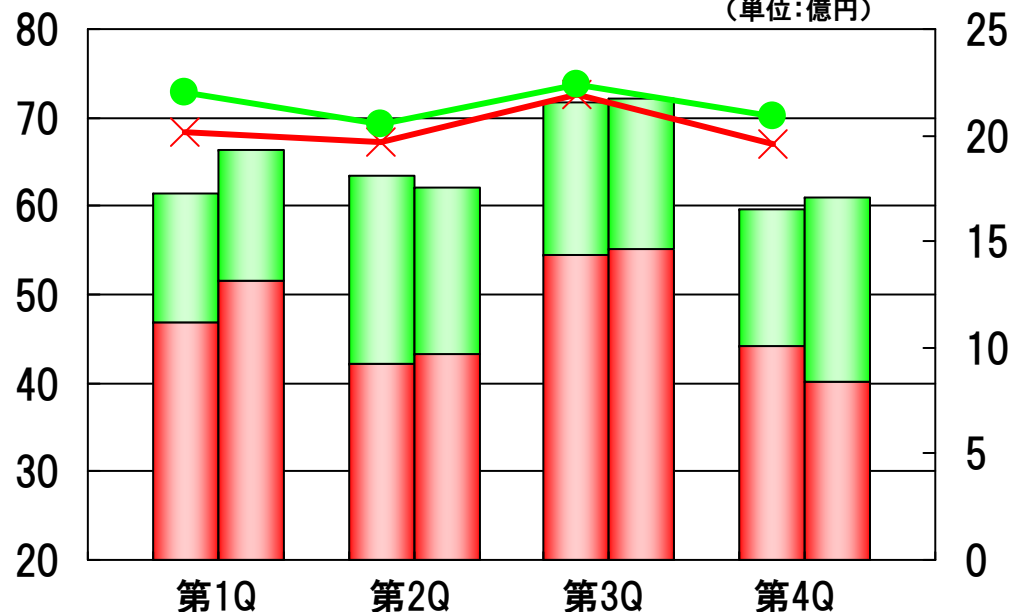
(単位:億円)

	2014年3月期 実績	2013年3月期 実績	増減
売上高	285	275	10
営業利益	75	73	2

売上高(折れ線グラフ)

営業利益(棒グラフ)

(単位:億円)



【決算総括】

- ・医薬原料
第4四半期に次年度からの薬価改定の影響
- ・機能性食品
通信販売が引き続き好調に推移しているものの、伸びがやや鈍化
- ・日水製薬
医薬事業、化粧品事業が順調に推移



◆ほぼ前年並みで推移。

(単位:億円)

	2014年3月期 実績	2013年3月期 実績	増減
売上高	138	133	4
営業利益	15	18	▲2

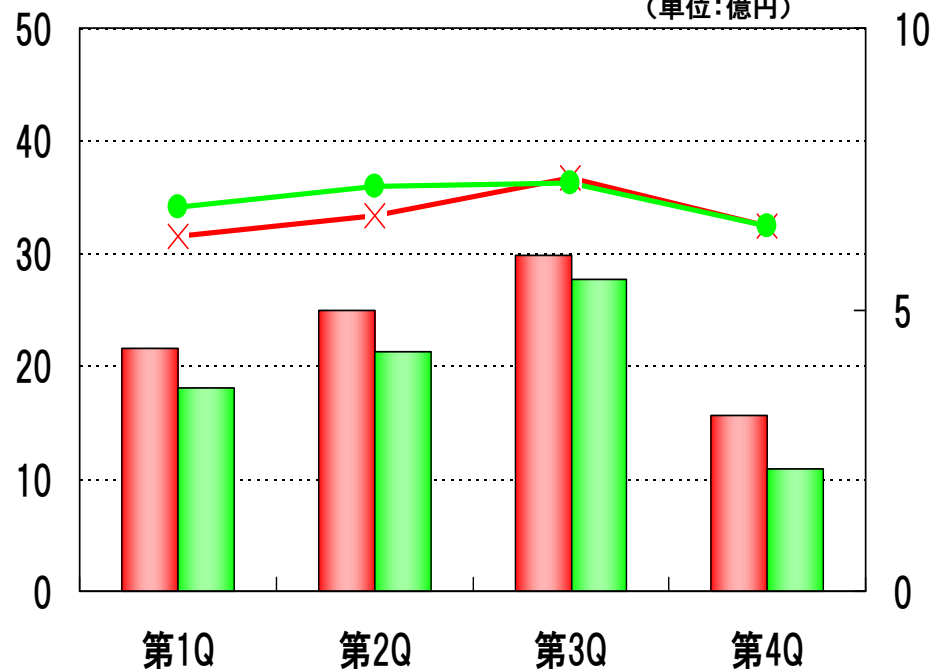
【決算総括】

- ・新規の共同配送事業により増収
- ・冷蔵倉庫事業は貨物取扱量が減少

売上高(折れ線グラフ)

営業利益(棒グラフ)

(単位:億円)



■ '13/3 営業利益 ■ '14/3 営業利益 -x- '13/3 売上 ● '14/3 売上



連結損益計算書(前年比)



(単位:億円)

	2014年3月期 実績 売上高比	2013年3月期 実績 売上高比	増減	増減率
売上高	6,042	5,668	373	6.6%
売上総利益	1,240 20.5%	1,202 21.2%	37	3.2%
販売費・一般管理費	1,100	1,144	▲43	
営業利益	139 2.3%	58 1.0%	81	139.8%
営業外収益	37	45	▲7	
営業外費用	53	48	4	
経常利益	123 2.1%	54 1.0%	69	127.1%
特別利益	21	20	1	
特別損失	34	96	▲62	
税金等調整前当期純利益(▲損失)	110 1.8%	▲21 ▲0.4%	132	—
法人税等	56	47	8	
法人税等調整額	3	▲3	7	
少数株主損益調整前当期純利益(▲損失)	50	▲66	116	
少数株主利益(▲損失)	12	▲18	31	
当期純利益(▲損失)	37 0.6%	▲47 ▲0.8%	85	—

主な増減要因

【販売費・一般管理費】

主にニッスイ個別の人的費、販売費、管理費の削減努力によるコストダウン等

【営業外収益・費用】

受取利息 約4億円減少
為替差益 約2億円減少 等

主な内訳

【特別利益・損失】

- 固定資産売却益 約14億円
- 関係会社売却損 約16億円

連結貸借対照表(前期末比)



流動資産 2,097 (+81)	流動負債 1,962 (▲61)
	固定負債 1,516 (▲43)
固定資産 2,219 (+18)	純資産 837 (+204)
総資産 4,316 (+99)	うち自己資本 663 (+165) <i>自己資本比率 15.4%</i>

(単位:億円)

主な増減要因					
資産	+99	流動資産	+81	現金及び預金	▲72
				受取手形及び売掛金	+26
				商品及び製品	+82
				仕掛品	+53
				原材料及び貯蔵品	▲7
		固定資産	+18	有形固定資産	▲31
				無形固定資産	▲16
				投資その他の資産	+67
負債	▲104	流動負債	▲61	短期借入金	▲28
				未払費用	▲42
		固定負債	▲43	長期借入金	▲36
				退職給付引当金	▲170
				退職給付に係る負債	+153
		純資産	+204	利益剰余金	+37
				その他有価証券評価差額金	+21
				為替換算調整勘定	+79
				退職給付に係る調整累計額	+21

自己資本比率 '13/3 11.8% → '14/3 15.4%

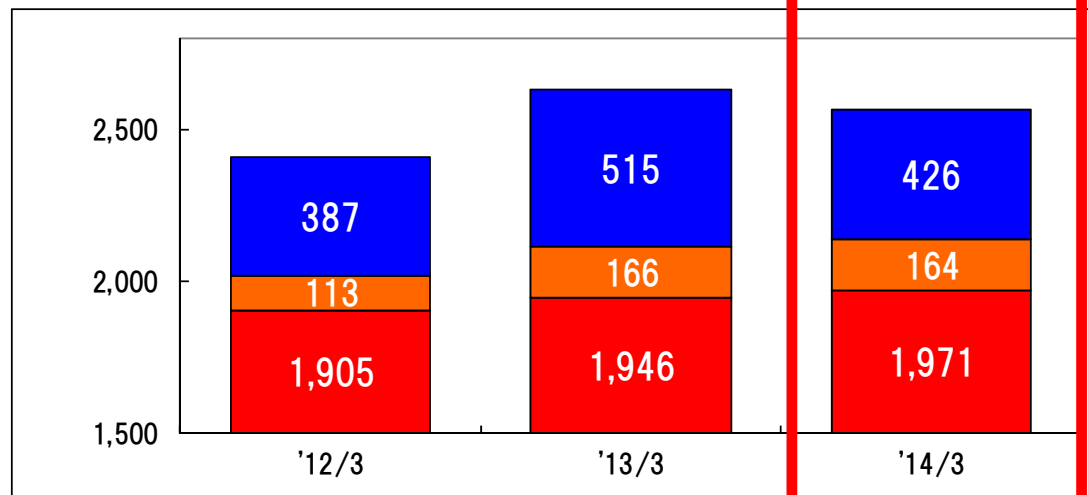
()内の数字は前期末比増減

連結借入金・純金利負担



(単位:億円)

- 海外関係会社
- 国内関係会社
- ニッサイ個別



前期末
比増減

▲88

▲2

+25

借入金合計	2,405	2,626	2,561	▲65
短期借入金	1,207	1,307	1,278	▲28
長期借入金	1,197	1,319	1,282	▲36
短期借入金平均利率	1.2%	0.9%	0.7%	▲0.2%
長期借入金平均利率	1.6%	1.4%	1.4%	▲0.0%
純金利負担	18.3	18.1	16.9	
対営業利益純金利負担率	19%	31%	12%	
支払利息	37.3	37.6	32.7	
受取利息	8.1	9.3	4.7	
受取配当金	10.8	10.1	11.0	
為替レート(US\$1)	@77.74(12月末)	@86.58(12月末)	@105.39(12月末)	

※借入金残高推移のうち、為替レート換算による増加額が前期末比で+87億円含まれている。

2015年3月期 見通しについて

来期の業績予想



<連結>

	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減
売上高	6,042	6,030	▲ 12
営業利益	139	155	15
経常利益	123	160	36
当期純利益	37	73	35

<個別>

	2014年3月期 実績	2015年3月期 計画	増減
売上高	3,339	3,280	▲ 59
営業利益	27	34	6
経常利益	40	51	10
当期純利益	21	37	15

主要在外会社の為替換算レート	2014年3月期実績(12月末レート)	2015年3月期計画レート
米ドル	105.39円	108円
ユーロ	145.05円	145円
デンマーククローネ	19.44円	19円

【2015年3月期計画】

(水産事業)

- ①水産品の食材化推進
- ②在庫コントロールの徹底
- ③養殖事業の高度化
まぐろ配合飼料
ぶり種苗センターの本格稼働
- ④北米子会社の収支改善
(助子の取扱い増)

(食品事業)

- ①重点商品カテゴリーへの注力とコストダウン継続
- ②北米冷凍食品会社における生産体制の見直し効果
- ③事業撤退による減収増益
山東山芋、ロヒタム

(ファインケミカル事業)

- ①薬価改定による医薬品の販売減を生産性向上でカバー
- ②機能性食品の販売強化
関東エリアでの広告宣伝
(メディアミックス)の実施による拡大

◆前年比で減収増益。水産・食品・ファイン事業ともに増収。水産・ファイン事業は減益だが、食品事業で増益

(単位:億円)

	2015年3月期 計画	2014年3月期 実績	増減
売上高	6,030	6,042	▲ 12
水産事業	2,551	2,538	12
食品事業	2,843	2,826	16
ファイン事業	293	285	7
物流事業	145	138	6
その他	198	252	▲ 54
営業利益	155	139	15
水産事業	36	50	▲ 14
食品事業	59	27	31
ファイン事業	68	75	▲ 7
物流事業	18	15	2
その他	6	12	▲ 6
全社経費	▲ 32	▲ 41	9
経常利益	160	123	36
当期純利益	73	37	35

2015年3月期 計画
セグメントマトリックス 売上高(前年比)



(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	仮計	連結調整	連結計
水産事業	1,967 (▲25)	421 (19)	307 (62)	160 (2)	479 (▲27)	3,337 (31)	▲786 (▲19)	2,551 (12)
	1,993	401	244	158	507	3,305	▲766	2,538
食品事業	2,992 (3)	588 (27)		56 (▲28)	202 (▲27)	3,839 (▲24)	▲996 (40)	2,843 (16)
	2,989	560		84	229	3,863	▲1,036	2,826
ファイン 事業	308 (5)			2 (0)		311 (6)	▲18 (1)	293 (7)
	303			2		305	▲19	285
物流事業	231 (7)					231 (7)	▲86 (▲1)	145 (6)
	223					223	▲84	138
その他 事業	274 (▲22)			1 (▲0)		275 (▲22)	▲77 (▲31)	198 (▲54)
	297			1		298	▲46	252
仮計	5,775 (▲31)	1,009 (47)	307 (62)	221 (▲25)	682 (▲54)	7,996 (▲0)		
	5,806	962	244	246	737	7,997		
連結調整	▲1,434 (▲8)	▲193 (4)	▲223 (▲47)	▲107 (27)	▲7 (11)		▲1,966 (▲11)	
	▲1,425	▲198	▲176	▲134	▲19		▲1,954	
連結計	4,341 (▲39)	816 (52)	84 (15)	114 (2)	675 (▲43)			6,030 (▲12)
	4,380	763	68	111	718			6,042

※上段は2015年3月期計画、下段は2014年3月期実績、右肩括弧内は増減を表わす。

※連結調整にはグループ間取引による売上高消去が含まれる。

2015年3月期 計画
セグメントマトリックス 営業利益(前年比)



(単位:億円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	全社経費	仮計	連結調整	連結計
水産事業	27 (▲4)	2 (5)	6 (▲5)	1 (▲0)	7 (▲2)		46 (▲8)	▲10 (▲5)	36 (▲14)
	31	▲3	12	2	10		54	▲4	50
食品事業	34 (9)	15 (12)		1 (1)	11 (9)		61 (32)	▲2 (▲0)	59 (31)
	24	2		0	2		29	▲2	27
ファイン事業	68 (▲6)			0 (0)			68 (▲6)	▲0 (▲0)	68 (▲7)
	74			0			75	0	75
物流事業	17 (2)						17 (2)	0 (▲0)	18 (2)
	14						14	0	15
その他事業	6 (▲2)			0 (▲0)			6 (▲2)	▲0 (▲3)	6 (▲6)
	9			0			9	2	12
全社経費						▲32 (9)	▲32 (9)	0 (0)	▲32 (9)
						▲41	▲41	▲0	▲41
仮計	153 (▲1)	17 (17)	6 (▲5)	3 (0)	19 (6)	▲32 (9)	168 (26)		
	155	▲0	12	3	12	▲41	141		
連結調整	▲7 (▲13)	0 (0)	1 (0)	▲0 (▲0)	▲7 (0)	0 (1)		▲13 (▲10)	
	5	▲0	0	0	▲7	▲1		▲2	
連結計	146 (▲15)	18 (18)	8 (▲5)	3 (▲0)	12 (6)	▲32 (11)			155 (15)
	161	▲0	13	3	5	▲43			139

※上段は2015年3月期計画、下段は2014年3月期実績、右肩括弧内は増減を表わす。
※連結調整にはのれん償却、たな卸資産の未実現利益等が含まれる。

◆昨年苦戦の北米すけそうだら事業が回復するも、南米・国内での高値市況にリスク

<連結>

<個別>

(単位:億円)

(単位:億円)

	2015年3月期 計画	2014年3月期 実績	増減		2015年3月期 計画	2014年3月期 実績	増減
売上高	2,551	2,538	12	売上高	1,103	1,162	▲ 59
営業利益	36	50	▲ 14	営業利益	9	10	▲ 1

【2015年3月期計画】

(連結)

- ・北米におけるすけそうだら事業の回復
- ・南米では、高値で推移するさけ相場の下落リスク

(個別)

- ・水産物の食材化推進
- ・年間通じた在庫コントロールの徹底
- ・高値で推移している、さけ、えびなどの水産物市況の下落リスク

2015年3月期 計画
水産事業 会社別売上高(3カ年推移)

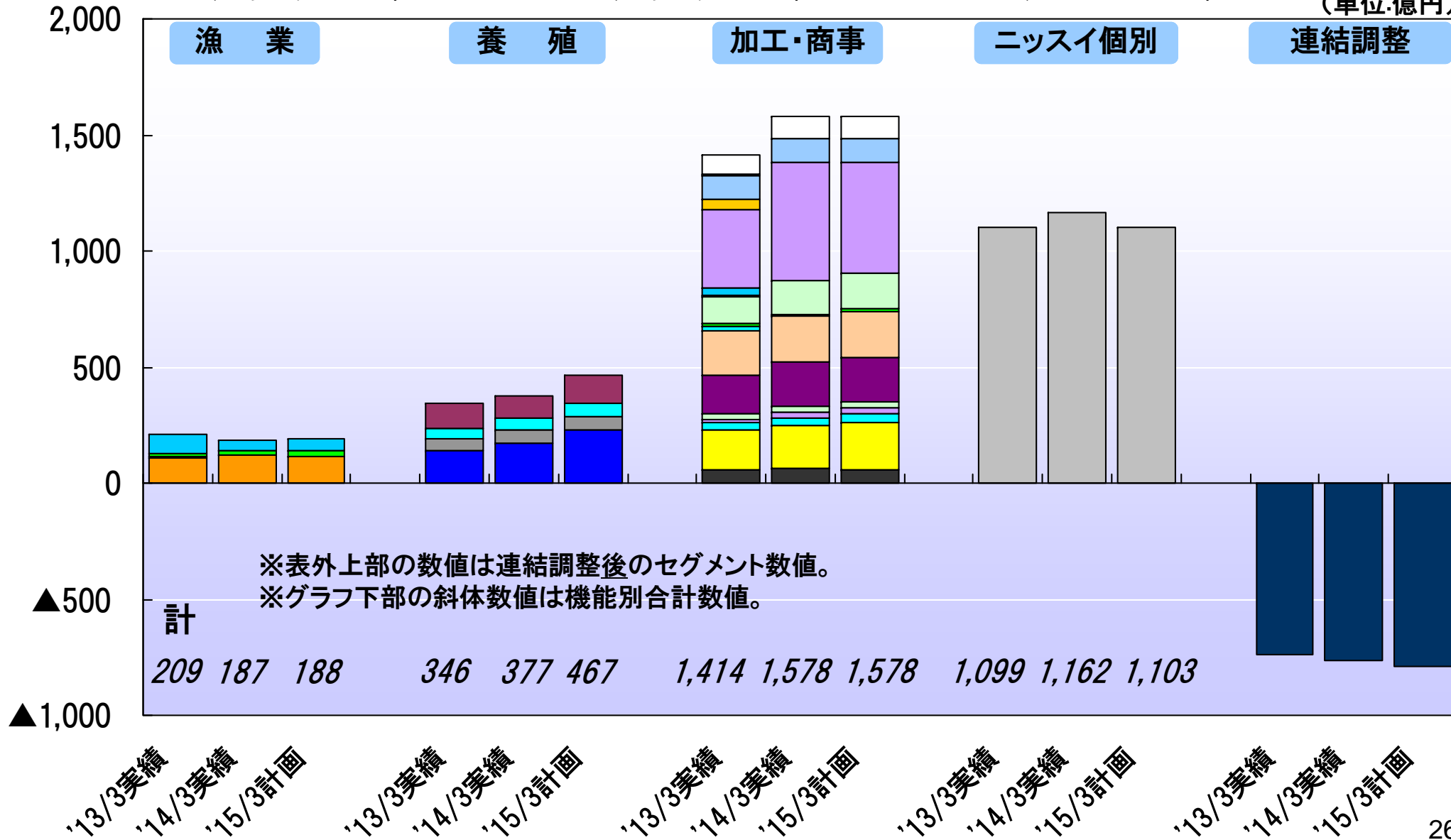


'13/3実績計 2,329

'14/3実績計 2,538

'15/3計画計 2,551

(単位:億円)



2015年3月期 計画
水産事業 会社別営業利益(3カ年推移)

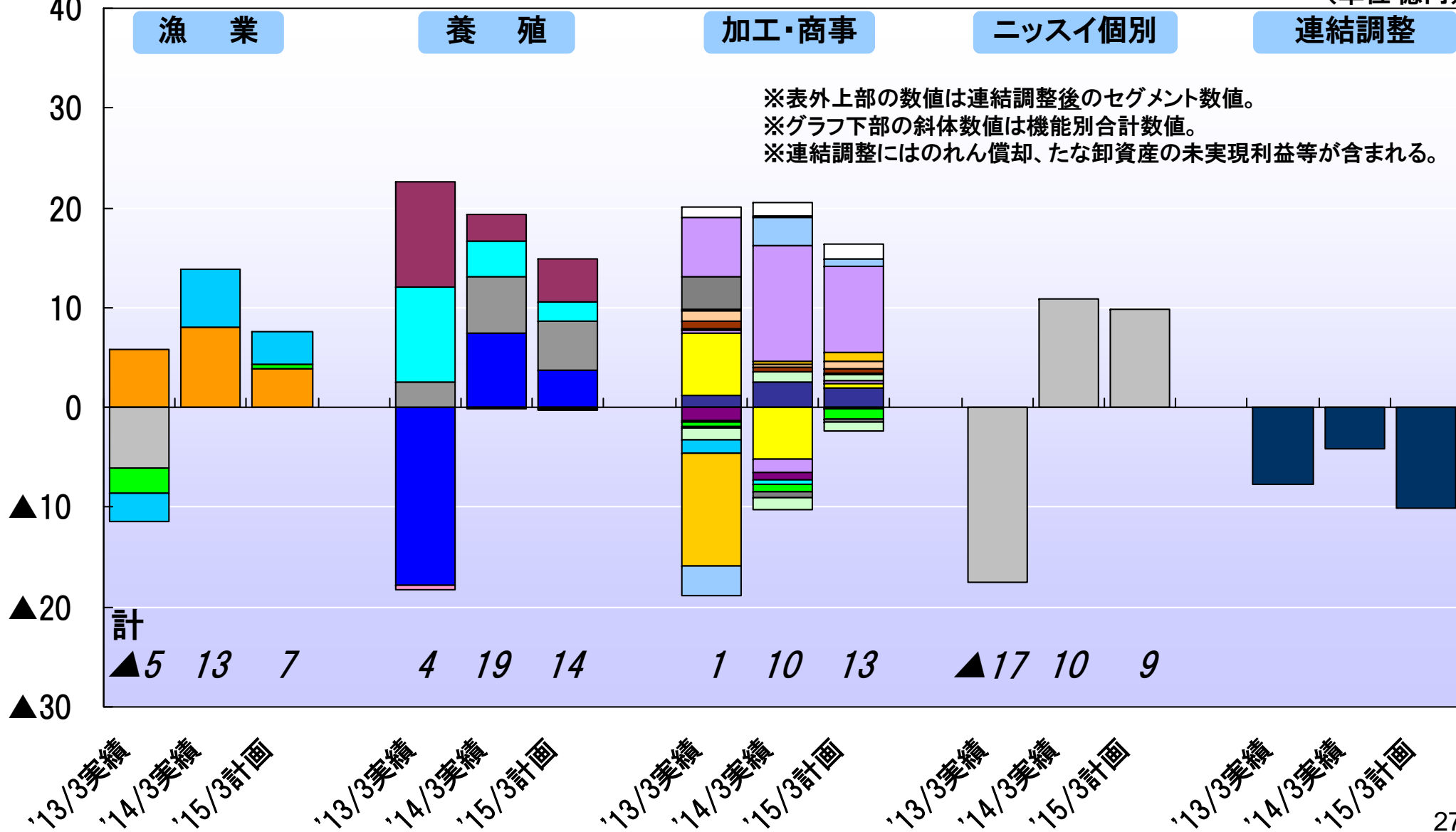


'13/3実績計 ▲25

'14/3実績計 50

'15/3計画計 36

(単位:億円)



◆北米のリストラ/ドイツの不採算事業撤退の効果により増益

<連結>

<個別>

(単位:億円)

(単位:億円)

	2015年3月期 計画	2014年3月期 実績	増減		2015年3月期 計画	2014年3月期 実績	増減
売上高	2,843	2,826	16	売上高	2,018	2,018	0
営業利益	59	27	31	営業利益	16	12	4

【2015年3月期計画】

(連結)

- ・北米では生産体制の見直しを継続して行い、生産性向上による増益
- ・不採算事業からの撤退及び事業運営形態の見直しにより減収となるものの、前年赤字のため増益
(ドイツ:ロヒタム、中国:山東山芋)

(個別)

- ・増力と効率化の追求
- ・事業コストの削減を継続
- ・成長分野への取組強化
⇒全温度帯の惣菜化

2015年3月期 計画
 食品事業 会社別売上高(3カ年推移)

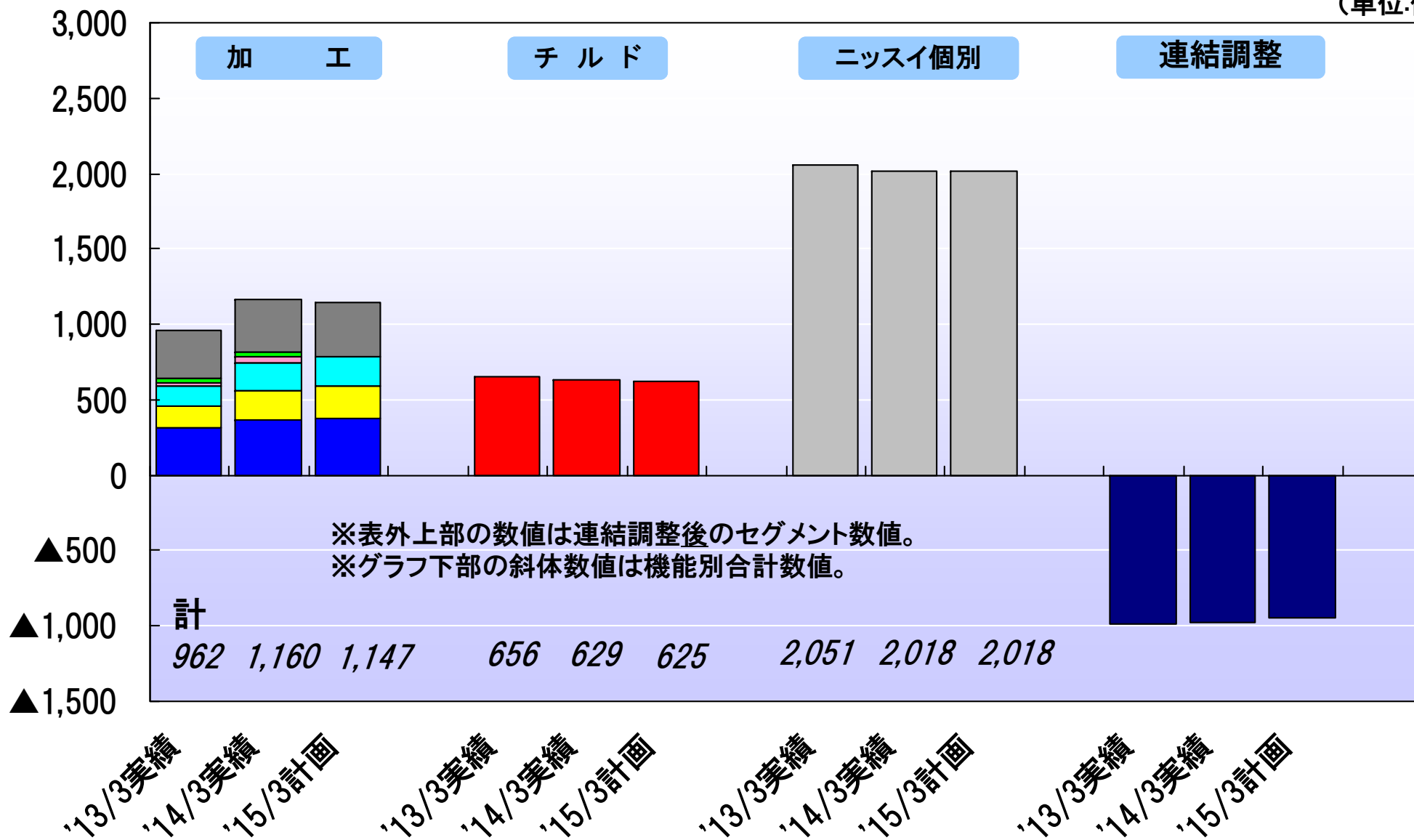


'13/3実績計 2,680

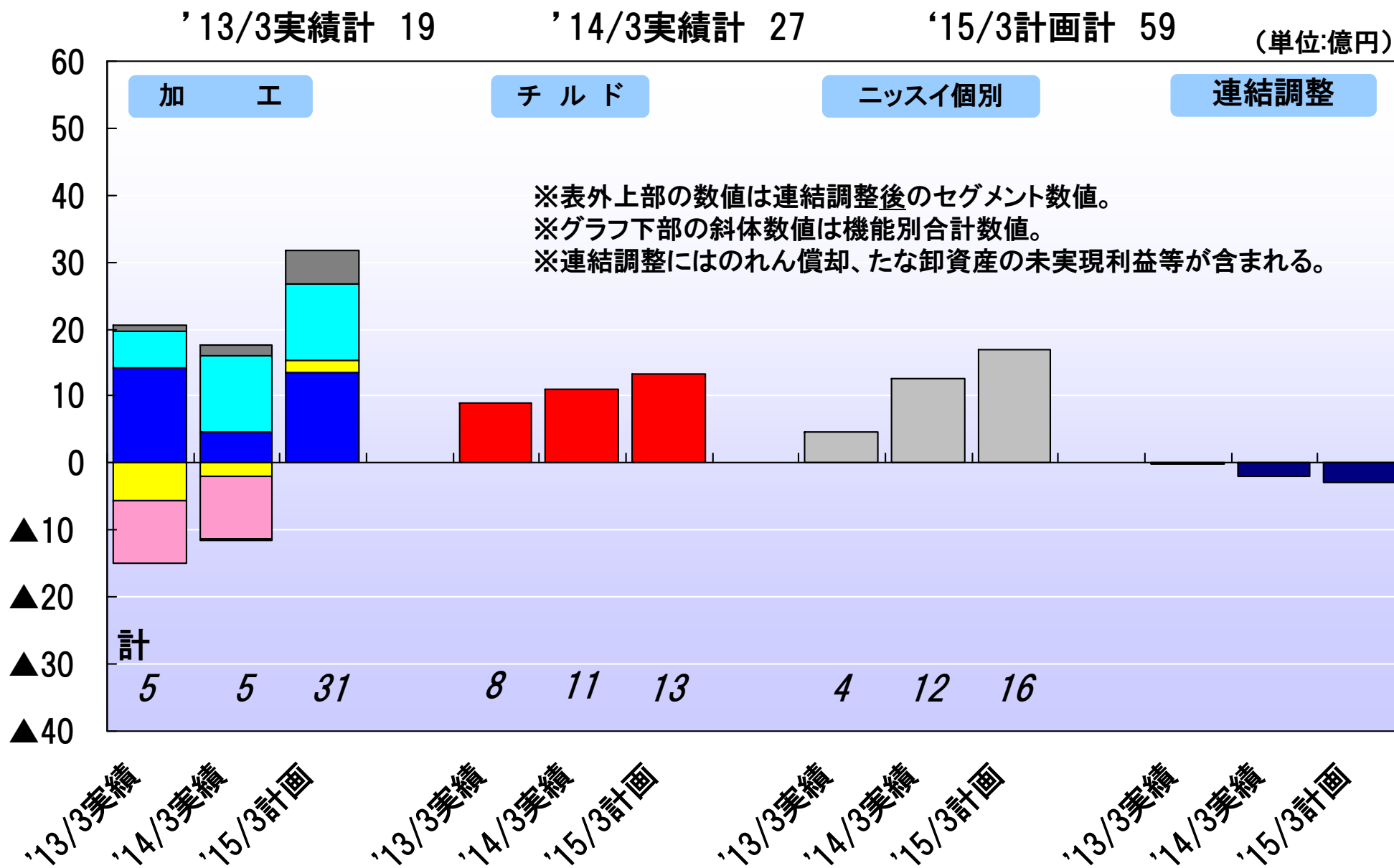
'14/3実績計 2,826

'15/3計画計 2,843

(単位:億円)



2015年3月期 計画
 食品事業 会社別営業利益(3カ年推移)



◆成長分野である機能性食品の販売拡大に向けた積極的投資

<連結>

<個別>

(単位:億円)

(単位:億円)

	2015年3月期 計画	2014年3月期 実績	増減		2015年3月期 計画	2014年3月期 実績	増減
売上高	293	285	7	売上高	161	158	3
営業利益	68	75	▲7	営業利益	38	45	▲6

【2015年3月期計画】

医薬原料

- ・薬価改定の影響と生産コストアップ
- ・海外展開への取組強化

機能性原料

- ・粉乳グローバル市場へ展開
→油脂バルク事業の拡大

機能性食品

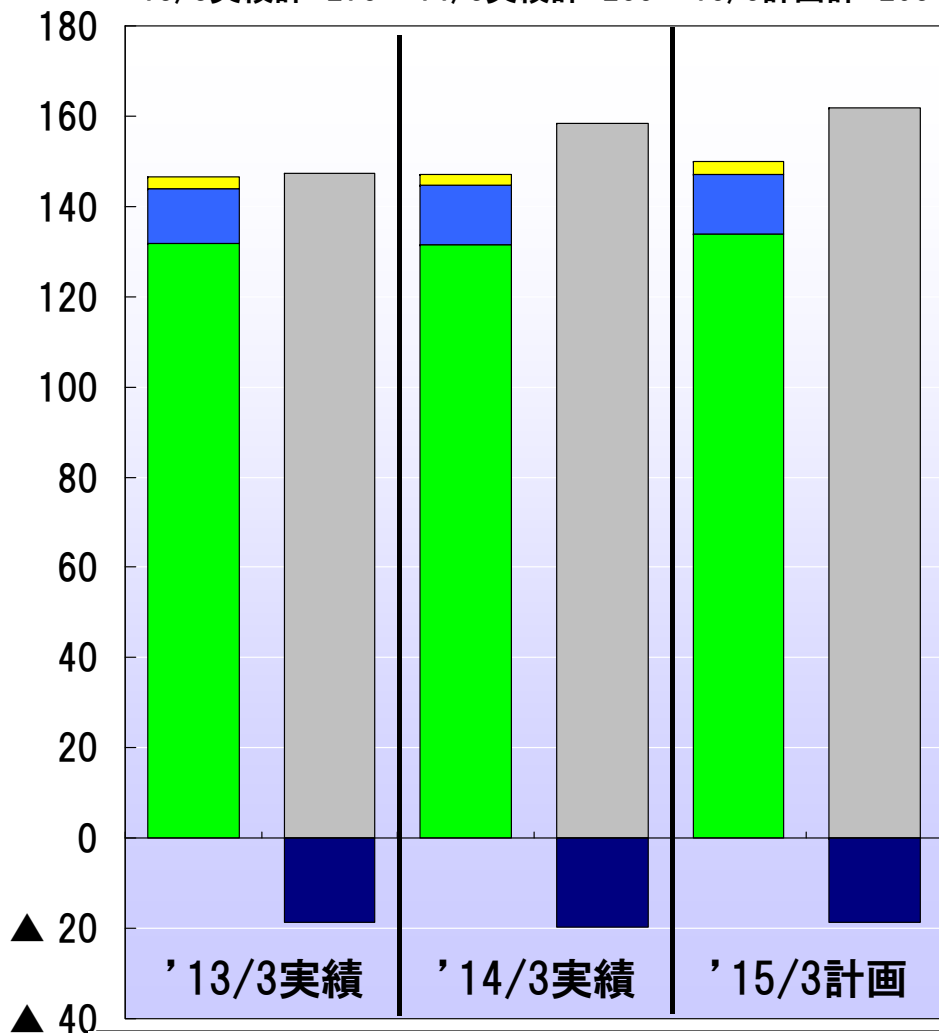
- ・成長分野における優位性確保のための積極的投資
→関東エリアでの広告宣伝の実施
- ・「SPORTS EPA」の拡販



売上高

(単位:億円)

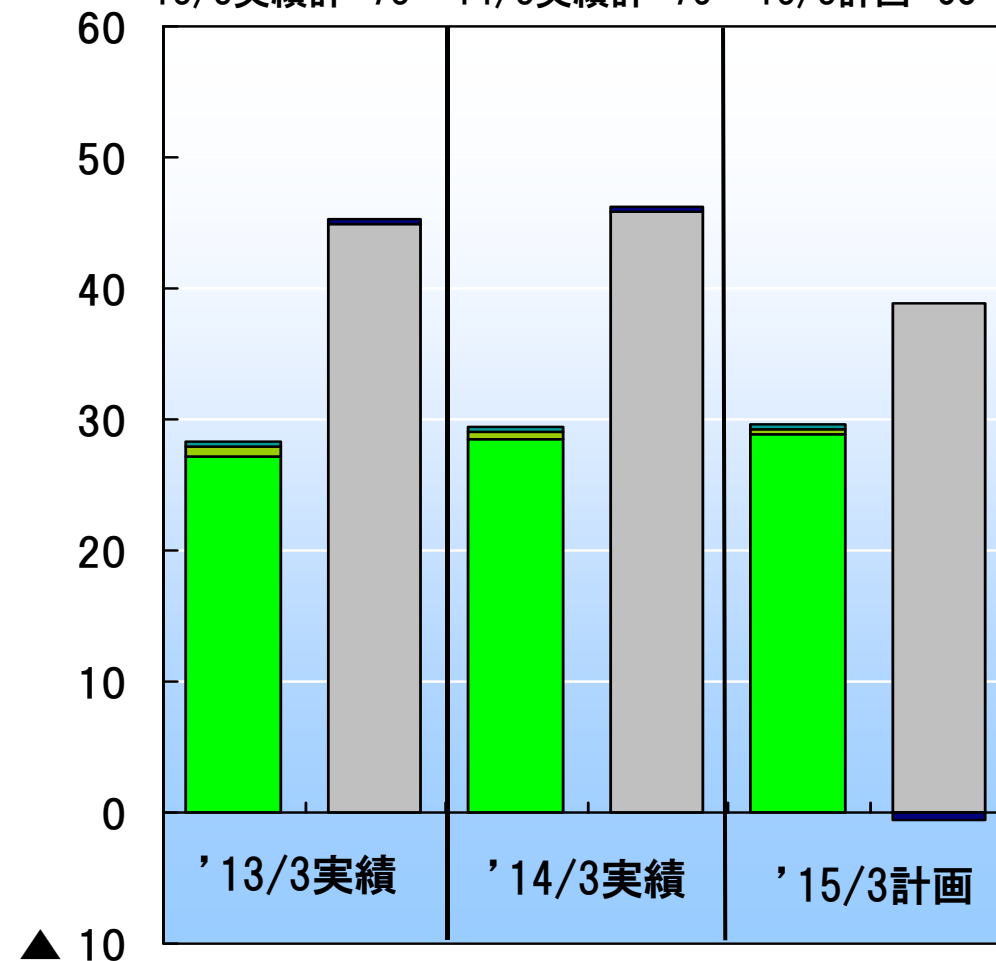
'13/3実績計 275 '14/3実績計 285 '15/3計画計 293



営業利益

(単位:億円)

'13/3実績計 73 '14/3実績計 75 '15/3計画 68



※表外上部の数値は連結調整後のセグメント数値。
 ※連結調整には、たな卸資産の未実現利益等が含まれる。

2015年3月期 計画
 物流事業 会社別売上高・営業利益(3ヵ年推移)



売上高

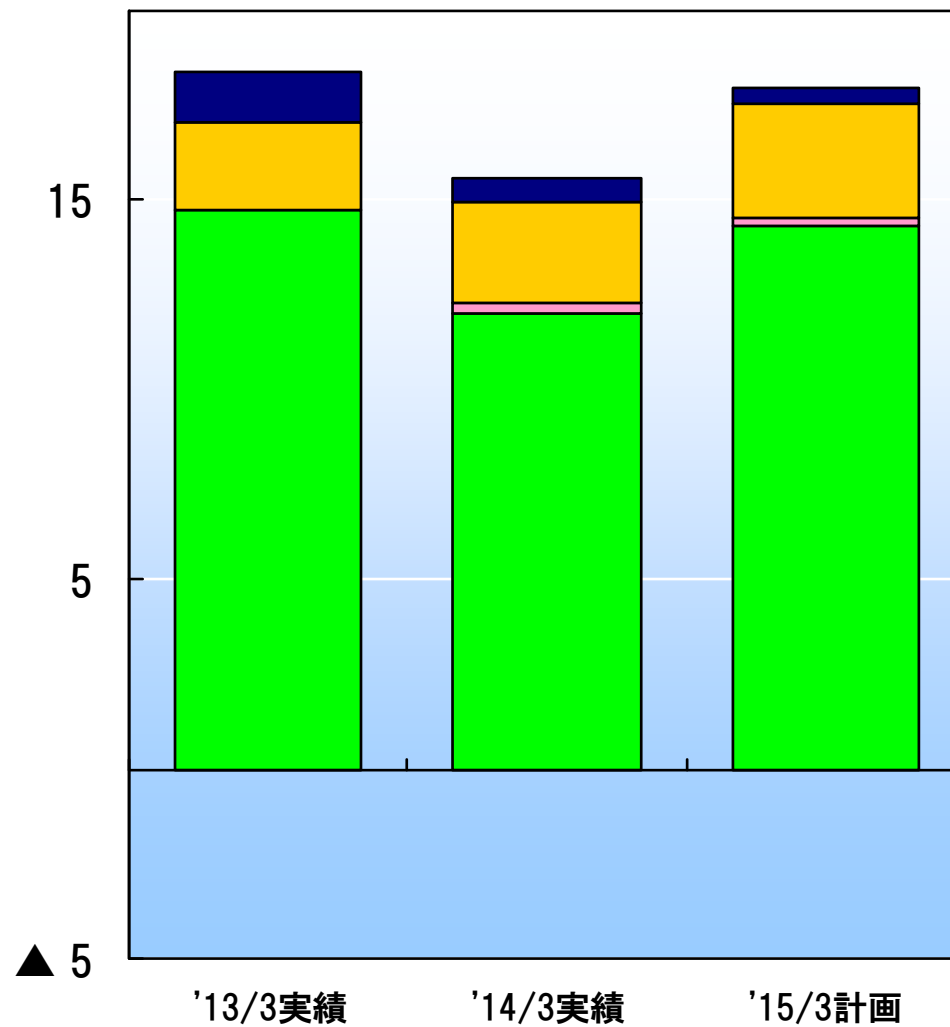
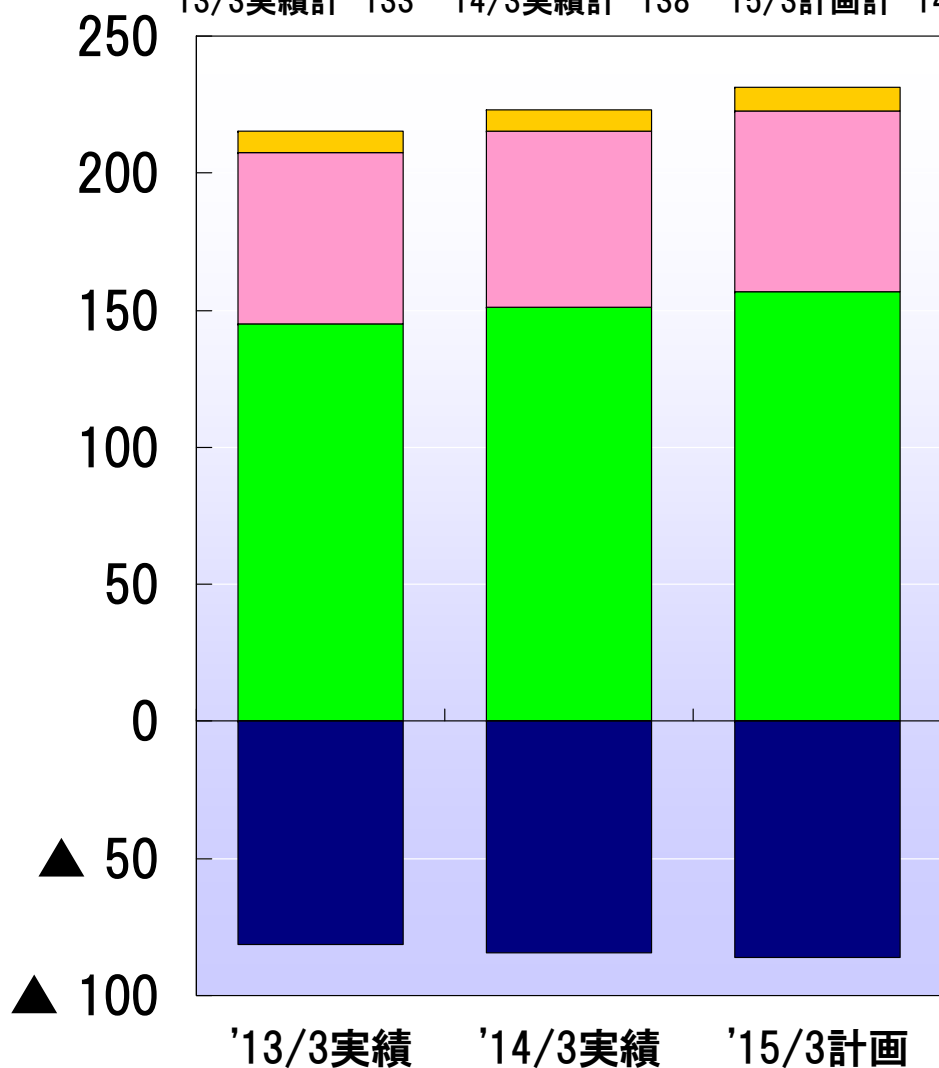
(単位:億円)

営業利益

(単位:億円)

'13/3実績計 133 '14/3実績計 138 '15/3計画計 145

'13/3実績計 18 '14/3実績計 15 '15/3計画計 18



※表外上部の数値は連結調整後のセグメント数値。
 ※連結調整には、固定資産の未実現利益等が含まれる。

中期経営計画2014(MVIP)関係

中期経営計画2014(MVIP)



(単位:億円)

	2014年度 目標	2012年度実績	2013年度実績	2014年度 計画	目標値との差
連結売上高	6,000 以上	5,668	6,042	6,030	30
海外売上高比率	26.0% 以上	26.0%	30.8%	-	-
(海外売上高)	1,560 以上	1,476	1,861	-	-
連結営業利益	230 以上	58	139	155	▲75
EBITDA	420 以上	226	307	313	▲107
営業利益純金利負担率	9.0% 以下	31.3%	12.2%	13.5%	4.5%
自己資本比率	20.0% 以上	11.8%	15.4%	16.8%	▲3.2%
ROA (総資産金利差引前経常利益率)	7.0% 以上	2.2%	3.6%	4.4%	▲2.6%
営業キャッシュフロー	350 以上	151	181	182	▲168
有利子負債額	2,300 以下	2,626	2,561	2,585	285

※2014年度計画：USD 108円、EUR 145円で算出

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものであり、これらの達成を保証するものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により、見通し等とは大きく異なることがあります。その要因としては、市場の経済状況および製品の需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種制度や法律の改定などが含まれます。

従いまして、本資料の利用は、利用者の判断によって行いますようお願い致します。本資料の利用によって生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではないことをご認識頂きますようお願い申し上げます。

日本水産株式会社

2014年5月15日発表

証券コード：1332

お問合せ先：経営企画IR室広報IR課

03-3244-4371

<http://www.nissui.co.jp/ir/index.html>

